



伊藤哲さん自死（2007年）公務災害認定裁判の判決は確定した・・・が

労務管理の最高責任者は細江市長

① 職務内容とパワハラ ② 後関問題 ③ 異動問題

20日、視察先の電車の中、携帯電話に伊藤左紀子さんから電話が入りました。「地方公務員災害補償基金が期限までに上告しないことが分かりました」との内容でした。認定要求裁判の終結が判明した時は、事件から10年が経過しました。高等裁判所での4000字にも及び左紀子さんの意見陳述は、標記①②③を自死の主たる原因と訴えています。「公務災害」判決確定した現在、岐阜市役所の「労務管理の最高責任者」である細江市長の責任が、意見陳述文中の当時の河島部長の責任と共に、改めて問われることとなります。

はじめ、マイル取得の改善制度「発表しない」と電話

21日の新聞には、「岐阜市は20日、市職員に出張専用の公用のマイレージカードを作らせ公費節減に努めると発表した」と報道されています。しかし、

視察先の服部無所属クラブ代表に電話があった時は、市の説明は「制度改善はしますが、記者発表はしない。」との内容でした。「はあ～～」「何のことでしょうか？ 説明が良く理解できないが～？」と視察先で会議がされていると、「記者発表することにしました。」と電話が入り直されました。『当たり前の訂正（記者発表）』と受け止めました。そもそも、「マイル」については、無所属クラブと共産党市議団は細江市長に対して改善の申入れをしており、「これに回答が来っていない」現状？ 市長の「マイル」への今日までの使用は依然不明確？ また、「改善策」の『自粛』規定も『自粛』で・・・？

撮影実績 154件 283日 石岡市(茨城県)



無所属クラブ視察（18日）で伺った石岡市の観光行政で興味深かったのは映画ロケ等の誘致活動でした。標記は平成23～28年度の累計です。平成26年度が最高で38件日数75日間の記録です。28年度は31件47日間。週1回は撮影が市内で行なわれていました。担当者3人で、誘致対応をこなしており「大変忙しい」とのこと。

NHKBS「ニッポンぶらり鉄道旅」撮影風景（石岡市説明資料から）

うら面につづく

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

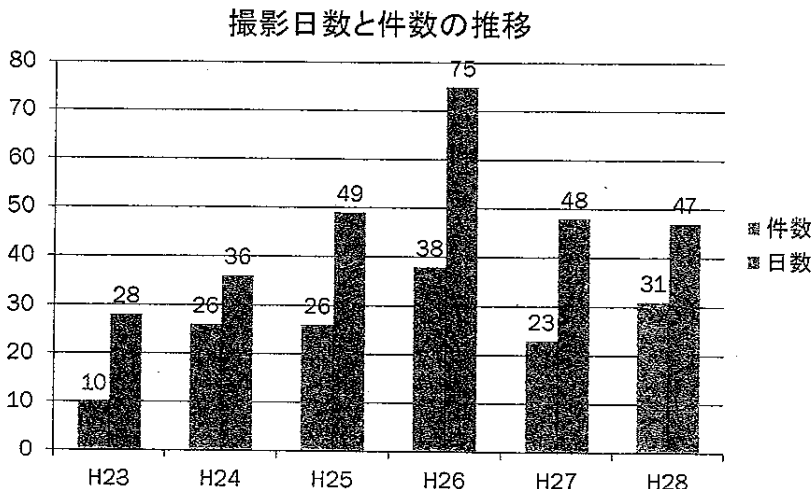
おもて面からつづき

石岡まつり

以外の取り組みが課題

入込客数40万人が訪れる「まつり」以外へ観光開拓されていました。茅葺屋根の住宅も保存されロケ対象の努力が伺えます。ロケ誘致の経済波及効果の計算を

まだ行っていないとのこと「是非されるべき」と意見交換しました。



市外在住者いしおかファンクラブ683人、予算50万円



市外在住者向けの優待サービス会員カードで、協賛店舗で優待が受けられる。協賛40店。ロックバンドMUCCがふるさと大使になり会員2倍達成と。MUCCのギャラは無料だそうです。ロケ隊に全員会員加入をお願いしては？ と意見交換。

原発再稼働や『共謀罪』施行を批判 フォーラム岐阜代表

22日新聞に、労組や市民団体でつくるフォーラム岐阜主催「非核・平和集会」の記事が掲載されています。標記は主催者代表の大矢浩会長の御挨拶です。記事によれば大矢会長は「岐阜から声をあげないと、子どもたちの未来はない」と危機感を示した。との事です。真に、そのとおりと思います。私たちも、非核・反原発・共謀罪反対の運動を行ってきました。少し気になりますのは、記事写真で大矢会長と共に非核・平和行進の横断幕を持っておられる富田議員は、私たちが紹介した「原発再稼働反対請願」に一度も賛成されていない事と、その事実を集会参加者がご存知か。という事です。



松原のりかず
☎058-253-2500